

競技注意事項

1 規 則

- ・2025 年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項に準じて行う。

2 練 習

- ・「トラック解放とウォーミングアップについて」に従い、個別に行うこととする。ただし、投擲・跳躍の練習は審判の指示に従って行うこと。なお、本部のアナウンスに注意し、その指示に従うこと。
- ・競技者以外の練習は認めない。

3 競技用靴について

- ・2025 年度日本陸上競技連盟競技規則 TR5.2 及び（国内）競技用靴に関する主要規則を適用する。
- ・スパイクのピンは、トラック競技は 9mm 以下、フィールド競技については 12mm 以下とする。
- ・投てき種目（四種競技の砲丸を含む）において、転倒の恐れがあること、ピンがなくてもサークルを傷付けてしまう恐れがあることから、ピンを外したスパイクシューズの使用は禁止する。

4 招 集

- ・各種目招集は、以下の通りとする。招集所では、競技者係の指示に従う。

種 目	招 集 時 間
トラック種目	競技開始 40 分前～20 分前
フィールド種目	競技開始 60 分前～40 分前
四種競技	競技開始 40 分前～20 分前

- ・競技順序記載の招集時間に、招集所で本人がコール用紙に自分で○を付ける。このとき、アスリートビブスと腰ナンバー標識（決勝《タイムレース決勝種目は除く》や四種競技はその場で配布）、シューズもしくはスパイクの確認を行う。
※招集所には、本人のみで行く。付き添いの同行は認めない。
- ・招集終了後、競技順序記載の集合時刻に、各種目のスタート地点（フィールド種目は競技場所）で最終確認を受ける。
- ・招集に遅れた場合は棄権とみなし、競技に参加することはできない。
- ・四種競技は、最初の競技と最終競技で招集を行い、レーンを確認し腰ナンバー標識を受け取る。なお、四種競技の走高跳と砲丸投は現地で 30 分前に最終確認を受ける。
- ・リレーとフィールド種目の出場時間が重複する選手は、予め当該種目の審判主任に申し出て、競技場所を一時的に離れる了解を得ること。
- ・リレーと個人競技の時間が重なる場合でも、必ず各種目のスタート地点（フィールド種目は競技場所）で最終確認を受けること。その際、リレーの現地に代理人を立て、その旨を審判員に申し出ることも可とする。
- ・リレーと個人種目の招集時間が重なる場合は、個人種目の招集開始時間前に競技者係に申し出て、招集を済ませること。
- ・スタート地点では、係の指示に従って、アスリートビブスの番号を書いたビニール袋にまとめた荷物を置き、競技の準備をする。

5 リレー

- ・リレーオーダー用紙は、競技順序に記載されている提出時間に招集所へ提出する。
- ・競技者は、1～4 走者のそれぞれのスタート地点に競技順序に記載されている集合時刻までに集合する。
- ・アスリートビブスは、偶数と奇数のカードが混在しても構わない。
- ・マークを使用する場合は、各校で用意し、1ヶ所のみとする。なお、マークには学校番号を記入すること。終了後、必ず撤収する。
- ・リレーのユニフォームについては、同系色であれば形式は問わない。

6 アスリートビブス

- ・競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように 2 枚のアスリートビブスをつけなければならない。ただし、跳躍競技の競技者は、背または胸につけるだけでもよい。
- ・アスリートビブスは県指定の学校番号を使用すること。布の大きさは、横 240 mm、縦 160 mm とし、数字は高さ 10 cm 以上、幅 5 cm 以上で太く書き、飾り文字は使わない。白布には番号だけを記入し、学校名等は記入しない。男子は黒字、女子は赤字で明記する。

7 腰ナンバー標識

- ・腰ナンバー標識は、事前に配付するプログラムに従い、各自で用意をする。ただし、各種目の決勝（タイムレース決勝種目は除く）及び四種競技の男子 400m、女子 200mのみ主催者側で用意する。（安全ピンは各自で用意）
- ・B6 版（B5 版の半分）の白い布を横長で使用する。数字は高さ 10 c m 以上、幅 5 c m 以上で太く飾り文字は使わない。男女とも黒で明記する。

8 スタート

- ・スタートの合図はイングリッシュコマンドで行い、1 回目の不正スタートで失格とする。
- ・四種競技は、各レースで 2 回目以降の不正スタートをした者が失格となる。
- ・スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告（イエローカード）を与えられることがある。本大会は種目ごとの累積とし、同一種目のイエローカード 2 枚で当該種目のみ失格（レッドカード）とする。但し、競技会からは除外しない。
- ・3000m は 2 段スタート、800m は 1 レーンに 1 ～ 2 名を入れてセパレートレーンで行う。

9 計 測

- ・フィールド競技については、以下の通りとする。ただし、当日の状況により変更することがある。

	男子	女子
走幅跳	4m30	3m60
砲丸投	6m00	6m50
走高跳	1m35 (5 cm) 1m70 (3 cm)	1m20 (5 cm) 1m40 (3 cm)
四種走高跳	1m20 (5 cm) 1m55 (3 cm)	1m10 (5 cm) 1m30 (3 cm)

- ・中長距離種目は競技進行上制限タイムを設け、下記の時間を超えた場合は競技を終了する。

	800m	1500m	3000m
男子	3 分 15 秒	6 分 30 秒	13 分 00 秒
女子	3 分 45 秒	7 分 00 秒	

※選手の健康に配慮し、制限タイム以内でも、競技を中止させることがある。

10 表 彰

- ・表彰式は行わない。各種目 6 位までの選手に賞状を授与する。アナウンス後、表彰係（中央ロビー）に取りに行くこと。なお、競技結果・県大会出場者については、後日参加校に配布する。

11 開閉会式

- ・今年度は行わない。

12 応 援

- ・応援席最前列の手すり付近で立って応援することは禁止とする。
- ・競技場内、練習場、招集場所には付き添わない。通路で立ちどまらない。
- ・“On your marks” のかけ声以降、スタートするまでの間は、静粛にすること。
- ・メインスタンドへのシート、テント、テープ、のぼり旗、応援幕の設置は禁止する。

13 コーチングエリアの使用方法

- ・直接声かけ等をする時間のみにとどめ、長時間コーチングエリアにとどまらない。
- ・コーチングエリアでの写真・ビデオ撮影等は認めない。
- ・役員に断りなく競技場所を離れてコーチングエリアに移動した場合、警告の対象となる。
- ・スタンドの上下にコーチングエリアを設置している場合、スタンド下のコーチングエリアは、競技時間中に競技役員を行っている審判が、一時競技役員を離れコーチングする場合のみ使用を認める。
- ・競技者に対する助力については、競技規則 TR6.4 を適用する。ただし、走幅跳の選手にタブレット等の録画再生機器を渡すことは、安全上、禁止とする。なお、映像等を見せる場合は、紐でぶら下げたり、身を乗り出したりするなどの危険な行為はしないこと。

14 その他

- ・走幅跳は A ピットが観客席側、B ピットはトラック側とする。
- ・立ち入り禁止区域には入らない。（本部前等）
- ・所持品は各自責任を持って管理すること。
- ・ゴミは各自で持ち帰ること。
- ・中学生競技者としてのマナーをしっかりと守ること。